

品質向上対策3本柱!

- ①適正粒数確保 (穂肥が施用できるイネづくり)
- ②後期栄養・水の確保 (粒張りの良い米づくり)
- ③土づくり (良い根づくり)

☆適切な水管理で初期生育の促進・良質茎の早期確保!
 ☆除草剤は適正に使って安全性を確保し、効果を十分に発揮させよう!

今年は苗が不揃いとなる傾向が見られます。

適切な植え付け本数・株数と水管理で今年の米づくりの順調なスタートを切りましょう!!

1. 移植のポイント

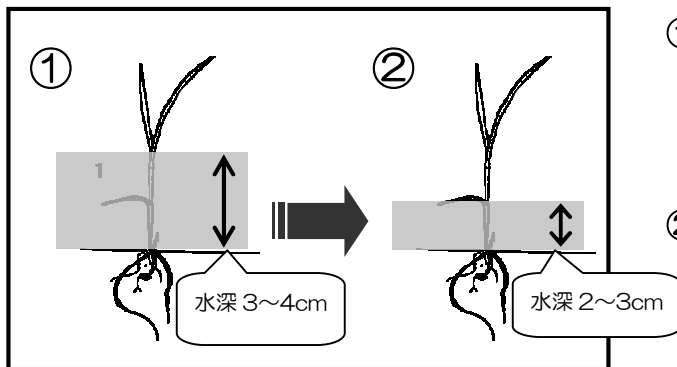
2. 0葉苗3~4本植え

コシヒカリBL	こしいぶき	こがねもち
50株/坪	60株/坪	60株/坪

(1) 移植時期 ~適期(5月10日が目安)移植で8月5日以降の出穂を目指す!~

- 玄米品質が安定して高いのは出穂後20日間の平均気温が25℃前後のときであり、8月5日以降の出穂となる必要があります。

(2) 田植えから活着期の水管理 ~適切な水深で、初期生育を確保!~



- ① 田植え後活着するまで
保温的水管理で低温や風による植え傷みを防ぐため、3~4cmのやや深水とする。
- ② 活着後
水温の上昇を図り、分けつきの早期発生を促すため、2~3cmのやや浅水とする。

※水を更新する場合は早朝にかん水し、日中は止水して水温の上昇を図りましょう。
 ※朝の移植は水温・地温が低いので、活着不良を防ぐため、特に山間部では日中に作業しましょう。

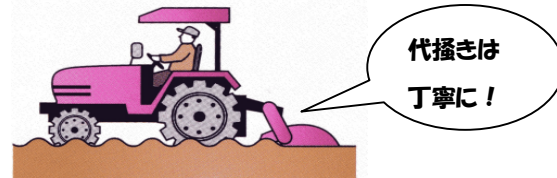
(3) ワキ防止 ~土壌への酸素供給や有害物質の除去を図り、根を健全化!~

- 田植え後20日頃から、好天時には地温が20~30℃に達し、生ワラ施用田では土壌の還元化が強まり、ワキの発生多くなります。
- ワキや表層剥離が発生した場合、水の更新・夜間落水・一時干しによりガス抜きを行いましょう

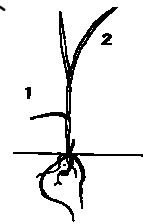
いよいよ春本番!公道への泥の落下にも気をつけて。

2. 除草剤を効果的に使うためのポイント

- ① 丁寧な代掻きで田面を平らに。凹凸では薬害・効果不足のもと。



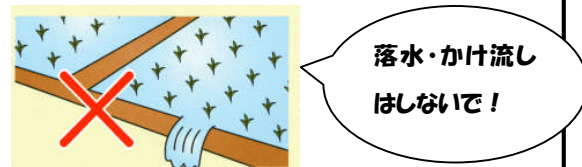
- ② 田植後、苗がしっかり根付く頃が処理適期。
異常な寒波や還元による『ワキ』で活着が遅れそうなときは様子を見て。



- ③ 散布前に3~5cm程度になるよう入水し、水口・水尻は止める。
※特にフロアブル剤・ジャンボ剤を使うときは、薬が田んぼの中に充分広がるよう、水をタツプリ、多めに(5~7cm程度)。

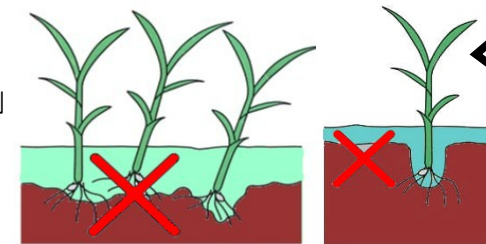


- 除草剤散布後、薬剤が落ち着く3~4日間は水口・水尻を止めたままで湛水状態を保って。
- 散布後7日間は落水・かけ流しをしないこと。



補足: 田植同時処理の注意点

- 丁寧な代掻きと適度な植付け深度で薬害の原因となる「浮き苗」や「浅植え」を防ぎましょう。
- 植え穴の戻りが悪い圃場、もしくは極端な砂壤土では薬剤が根付近まで浸透し、薬害が出る恐れがあるので、田植同時処理を行わないでください。



浮き苗・浅植え 植え穴の戻りが悪い

☆使用時期にも注意
 田植同時処理をする場合、使用時期に「移植時」の登録がないと使えません。「移植直後」と間違えないように!

<農薬使用にあたっての注意>

- 使用する前に、農薬ラベルに記載された事項は必ず確認し、適正に使用しましょう。
- 周辺への飛散防止のため、風向きやノズルの向き等に注意を払いましょう。
- 作業中は必要に応じて農業用マスク、防護メガネ等を着用しましょう。
- 減減栽培・県認証の申請時等に必要になるので、使用したときに必ず記録しましょう。

農薬情報

平成23年4月28日
 JAにいがた南蒲

バサグラン粒剤
 ゴウワン1キロ粒剤・Lフロアブル
 が直播水稲にも適用拡大しました!

●登録内容等、詳しくは営農センター米穀課までお問い合わせください。

いもち病多発田では...

前年いもち病が多発した圃場では、箱処理剤の施用をお勧めします!

●様々な箱処理剤を取りそろえております。詳しくは営農センター米穀課へお問い合わせください。